

つながる備えが、いのちを守る

難病患者の 災害支援研修会

～停電・災害から命を守るために、今できる備えを考える～

停電は、人工呼吸器利用者にとって
命に直結する問題です。

どなたでも
ご参加
いただけます

参加無料

この研修で学べること

災害時に
命を守るための備え

人工呼吸器利用者
への支援

停電時の生活と課題
(電源確保について)

災害時の
リハビリテーション

支援者の
精神的負担への配慮

地域で支え合うための
ネットワークづくり

日時 2026年8月30日(日) 10:00～16:00
(受付9:30～)

会場 日本医療大学 月寒本キャンパス
3階(エレベーターあります)
1324講義室

対象 医療、福祉、介護の専門職。当事者、ご家族
行政・支援者団体関係者 学生・関心のある方どなたでも

協力・後援

日本ALS協会北海道支部
一般社団法人 日本ALS協会
一般財団法人 北海道難病連

主催 NPO法人
ICT救助隊

申込方法

右のQRコードよりお申し
込みください。



お問合せ

NPO法人ICT救助隊

☎03-6426-3259
info@rescue-ict.com

メールでも受け付けています。



命をまもる

荻野 美恵子

東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学 客員教授



災害時における
命の尊厳と支援者の役割
について、医師の視点から
考えます。

自助力を高めるための支援とは

～具体的に災害を想定するための第一歩～

小林 大作

株式会社アシテックオコ 作業療法士



自ら備える力を高める
ための具体的な支援や、
日常からできる備えに
ついて学びます。

昼食・休憩

「山田さんの2日間の停電生活」 ビデオ上映



2日間の停電生活について

山田 洋平

一般社団法人日本 ALS 協会
理事・北海道支部支部長・災害対策委員



実際に経験した停電生活
の中での困りごとや工夫、
支援者の思いをお話し
いただきます。

災害時のリハビリテーション

松崎 由里子

日本医療大学リハビリテーション学科 理学療法士



災害時のリハビリの目的と
支援者、介護者を守り、
生活続ける支援も大切さ
をご講演いただきます。

グループワーク

個別支援計画を考える / アクションカードを作ってみるなど
具体的な支援を考えるグループワークを行います。



会場のご案内

日本医療大学 月寒本キャンパス

3階1324講義室（エレベーターあります）

北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1-50

地下鉄東西線 南郷13丁目駅 2番出口から徒歩約10分

地下鉄東豊線 福住駅 2番出口から徒歩約13分

地下鉄東豊線 月寒中央駅 3番出口から徒歩約15分

